

# 平成24年度 まちの 台所事情

町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているか、平成24年度決算の概要をお知らせいたします。  
※お問い合わせは、企画財政課財政担当(内線261) 佐々木・岩隈まで

## 収入は、前年度から 8.2%増加

平成24年度の決算は、6会計全体の収入で85億9861万円、支出では81億4508万円となりました。前年度と比べて、収入は6億5139万円(8.2%)の増、支出は、5億3021万円(7.0%)の増となりました。

翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、3億2491万円の黒字となりました。このうち一般会計は、3億951万円の黒字決算となりました。

## 一般会計【収入】 地方交付税は増加、国庫支出金は減少

国から交付される地方交付税交付金は32億2639万円で、一般会計の収入全体の47.3%(図2)を占めています。前年度比較で3億2393万円(11.2%)の増加となりました。

町税は6億4782万円で、2751万円(4.1%)減少となりました。

国庫支出金は5億8036万円で、農林水産事業関係の繰越事業等により、2億317万円(53.9%)増加しました。

町の借金である町債は8億9217万円で、ビクターセンター連携施設整備事業の実施に伴う借入が増えたこと等により、2億4920万円(38.8%)増加となりました。

収入全体では、平成23年度と同じように、町税や使用料及び手数料といった自主財源よりも、地方交付税に依存する割合が大幅に大きくなっています。

## 一般会計【支出】

総務費では、地上デジタル放送新たな難視対策事業として東居辺有線共聴施設設置工事を実施しました。また、戸籍事務をコンピュータで処理する戸籍

システム導入事業を実施しました。民生費では、原油価格の高騰による低所得者世帯への負担軽減を図るため、福祉灯油等支給事業を実施しました。

農林水産業費では、有機物資源の有効活用による農産物の低コスト生産を目指し、資源循環型農業推進事業、TMRセンター運営補助事業やコントラクター運営補助事業を実施しました。また、環境面や地域資源(林地残材等)を有効活用するため、木質バイオマスの利活用について検討を実施しました。

商工費では、継続して、商店街活性化対策事業を実施しました。また、老朽化した街路灯・防犯灯をLED照明に更新する街路灯・防犯灯LED化事業を実施しました。

土木費では、公園整備事業として、航空公園内の街灯増設工事や複数の公園のフェンス等の改修工事を実施しました。また、定住促進空き家活用住宅整備工事を実施しました。

消防費では、地域防災計画の見直しに着手しました。

教育費では、継続して、魅力ある学校づくりに取り組み上士幌高等学校振興会に補助を実施しました。また、ビクターセンター連携施設新築工事を実施しました。



ひがし大雪自然館

## 特別会計

特別会計は、国民健康保険・水道・後期高齢者・下水道・介護保険の5事業で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなっています。

このうち下水道事業については、長寿命化計画に基づき、下水道管理センター電気設備改築工事を実施しました。

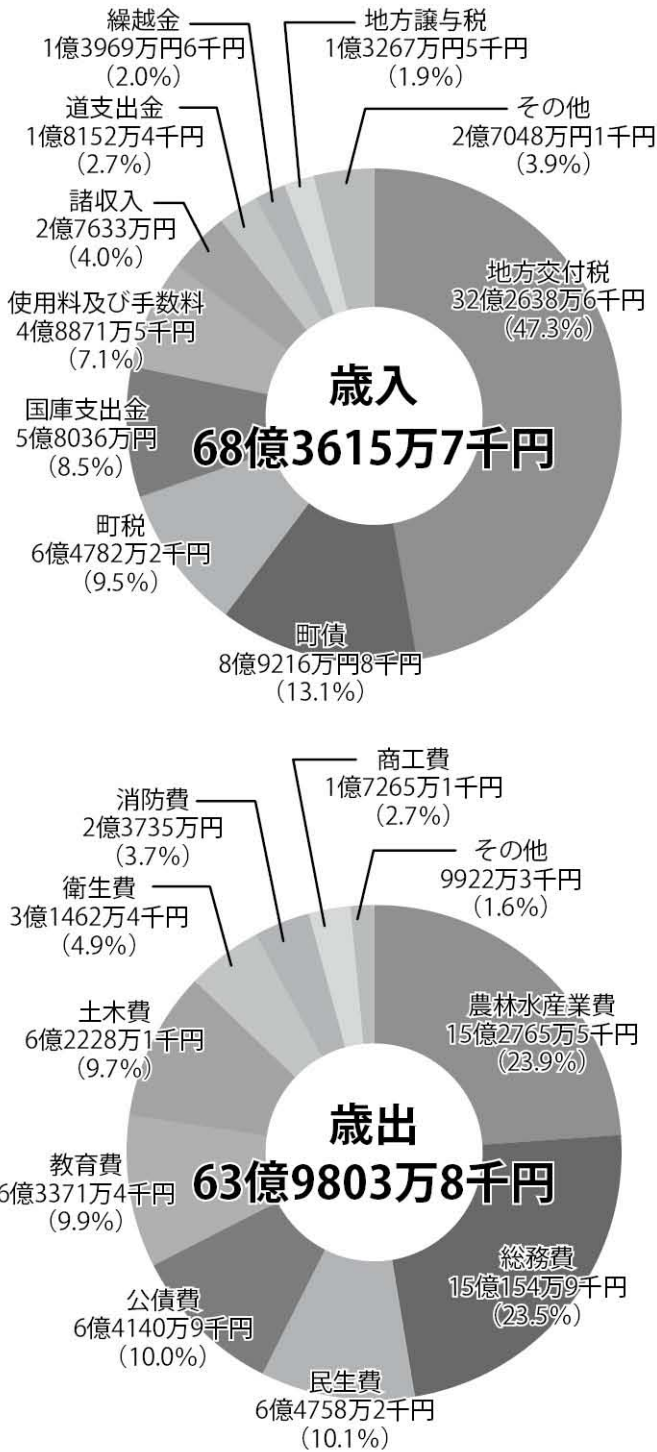
## 借金総額約78億円 借入金残高は増加

町が公共施設の建設や道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金の平成24年度末現在高は、77億7345万円で前年比2億2129万円の増となり(図3)、借金残高総額が増加しました。

## 貯金総額約56億円

将来の町づくりのために積み立てている積立金の残高は17基金合計で56億2989万円となっています(表4)。このうち社会福祉など特定の目的のための基金を除く、災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、3億3590万円で前年比6億5400万円増加しました。

■図2 平成24年度一般会計収支の内訳



＊平成24年度に

町民1人あたりに使ったお金 **161万9千円**  
(前年:148万6千円)

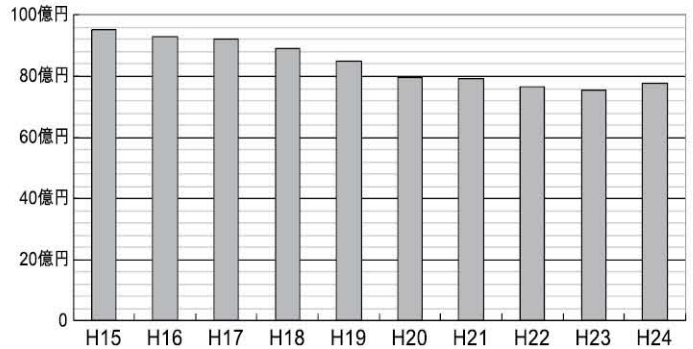
町民1人あたりの町税負担額 **12万9千円**  
(前年:13万2千円)

※計算基礎人口 5,030人(平成25年3月末現在)

■表1 平成24年度決算総括表

会計	区分	平成24年度	平成23年度	増減率
一般会計	歳入	68億3615万7千円	61億8250万5千円	10.6%
	歳出	63億9803万8千円	59億780万9千円	8.3%
国保会計	歳入	7億5036万1千円	7億5084万6千円	△0.1%
	歳出	7億4700万9千円	7億745万6千円	5.6%
水道会計	歳入	1億9765万6千円	2億4408万9千円	△19.0%
	歳出	1億9704万4千円	2億3903万0千円	△17.6%
後期高齢者医療会計	歳入	7939万5千円	7582万2千円	4.7%
	歳出	7500万3千円	7366万9千円	1.8%
下水道会計	歳入	2億8280万7千円	2億2259万9千円	27.0%
	歳出	2億8235万7千円	2億2216万2千円	27.1%
介護保険会計	歳入	4億5223万3千円	4億7136万2千円	△4.1%
	歳出	4億4563万2千円	4億6475万2千円	△4.1%
総計	歳入	85億9860万9千円	79億4722万3千円	8.2%
	歳出	81億4508万3千円	76億1487万8千円	7.0%

■図3 町債(借入金)現在高の推移



■表4 平成24年度末基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成24年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	14億3631万円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
減債基金	9億1757万3千円	町の借入金の返済財源
公共施設整備基金	20億9958万8千円	将来の公共施設の整備費用のための財源
土幌線代替輸送確保基金	2億5030万3千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	2億9748万5千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策及び解体撤去の際の財源
学校教育施設整備基金	1億95万3千円	学校教育施設の建設費用のための財源
社会福祉基金	1億5541万4千円	援護を要する高齢者及び重度障がい者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億737万6千円	将来の公共施設用地の取得基金
その他(9基金)	2億6488万5千円	
合計	56億2988万7千円	